

令和4年度

札幌市豊平老人福祉センター

事業計画

札幌市豊平老人福祉センター指定管理者

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会

令和4年度札幌市豊平老人福祉センター事業計画

I 基本方針

- 1 職員の専門性を活かした包括的な支援・サービスの提供を行うとともに誰もが平等にサービスを受けることが出来るよう支援する。
- 2 老人福祉センターを拠点としたボランティア活動の充実と高齢者の社会参加する機会を提供する。
- 3 利用対象者のみならず、地域の方々とも交流が出来るような場を提供する。
- 4 各区社会福祉協議会等関連機関との更なる連携強化を図る。
- 5 老人福祉センター周辺の地域性による臨機応変な取組みを支援する。
- 6 講座・サークル活動の取組みを支援する。
- 7 更なる経費縮減を図る。

II 計画目標値

- 1 全体利用者数
39,000人/年（前年度目標値：39,000人）
- 2 老人福祉センター利用者アンケート
 - ・ 回答数 280人以上
 - ・ 総合満足度 70%以上
 - ・ 接遇に関する満足度 75%以上
- 3 デイサービスセンター利用者アンケート
 - ・ 回答数 実人員の90%以上
 - ・ 総合満足度 80%以上
 - ・ 接遇に関する満足度 80%以上

III 業務実施計画

- 1 高齢者に対する生活相談等に関する業務（専門家等相談事業を含む）

(1) 目的・ねらい

随時、利用者や家族等からの、生活、福祉、住宅等の様々な相談を受け、適宜、的確な状況把握や援助を行うとともに、専門的対応や緊急対応が必要な場合においても、本会の専門性を活かした連携により、悩みごとや不安の解消に向けて、積極的に支援する。

(2) 実施内容

項目	内容	実施時期	相談受付者
生活相談	日常生活の悩み事、困り事の相談	通年実施	館長 副館長
福祉相談	介護保険制度や福祉施設、認知症等の相談	12月	社会福祉士 介護支援専門員等

法律相談 (専門家等相談事業)	遺言と相続	5月	行政書士等
住宅相談 (専門家等相談事業)	高齢者住宅等について	9月	不動産専門家
法律相談 (専門家等相談事業)	交通事故等の対応について	10月	行政書士等
就労相談 (専門家等相談事業)	高齢者就労機会相談	2月	シルバー人材センター等

(3) 専門家相談事業における目標数値

- ・ 実施回数 3回以上/年
- ・ 参加人数 20人以上/回
- ・ 満足度 80%以上

2 健康相談・機能訓練に関する業務（講演・運動等事業）

(1) 目的・ねらい

高齢者自身の健康管理や介護予防への関心はますます高まる傾向にあることから、そのニーズを的確に捉え専門性を活かした取組みを実践する。

(2) 実施内容

項目	内容	実施時期	実施回数 (年)
ふまねっと運動	50センチ四方のマス目でできた大きな網を床に敷き、網を踏まないように歩く運動。	毎月1回	年12回
大高先生の健康づくり体操	高齢者向けの介護予防を兼ねたストレッチ運動	毎月3回 2クラス	年72回
あへあほ体操	「あへあほ」の発生を繰り返し腹筋運動等をイスに座って行う体操。	6月 10月	年2回

(3) 目標数値

- ・ 実施回数 50回以上/年
- ・ 参加者数 12人以上/回
- ・ 満足度 80%以上

3 浴室業務

(1) 実施内容

月・水・金曜日の午後1時から午後4時まで、浴室利用を実施する。
(祝日にあたる場合は、火・の木曜日に実施)

(2) 目標数値

利用者数 2,400人/年(前年度目標値:2,160人)

4 教養講座の開講に関する業務

(1) 目的・ねらい

健康増進や教養の向上等に関する多彩な講座を開講し、利用者の生涯学習意欲の増進を図り、常に利用者ニーズを把握しながら、スクラップアンドビルドを原則に、ニーズを反映した講座を開催する。

(2) 実施内容

分類		講座名	実施回数 (月)	定員
健康増進	自由参加	社交ダンス	未定	—
		フラダンス	1回	—
		日本舞踊	2回	—
	定員制	ヨガ	3クラス 3回	60名
教養向上	定員制	絵手紙	2回	15名
		皮革工芸A・B	2クラス 3回	12名
		書道A・B	2クラス 3回	24名
		オカリナ	未定	—
		大正琴	2クラス 3回	16名
		パソコン	2回	15名
	自由参加	詩吟	未定	—

(3) 目標数値

- ・ 申込率 定員に対して70%以上
- ・ 満足度 80%以上

5 レクリエーション・各種行事の開催等に関する業務

(1) 目的・ねらい

利用者の健康増進、生きがいづくり及び豊かな生活の実現を支援するた

め各種活動の場を提供して、相互交流の輪を拡げていき、季節感のある四季折々の行事に加え、地域に根ざし開かれたセンターとして、協働行事や地域開放行事、世代間交流行事を展開しながら、地域住民同士の交流や地域住民とセンターとの連携強化を促進する。

(2) 実施内容

実施時期	行事名	内容	定員
4月	令和4年度定員制教養講座開講		—
	精進川清掃活動	精進川のゴミ拾い等	—
5月	春季演芸発表会 (舞踊等の部)	日頃の練習成果発表の場	—
6月	春季囲碁大会	4クラスに分かれての大会	
	春の火災避難訓練	センター利用者及び児童会館合同避難訓練	—
7月	夏の交通安全街頭啓発	街頭で安全運転呼び掛け	—
8月	盆踊り大会	児童会館と協働行事	—
9月	保健福祉週間演芸発表会 (舞踊等の部)	日頃の練習成果発表の場	—
	保健福祉週間囲碁大会	4クラスに分かれての大会	—
	敬老の日交流会	児童会館と協働行事	
10月	文化祭作品展示会	当センター教養講座受講生が制作した作品の展示	—
11月	社会見学会	日帰りのバスレク(利用者様同士の親睦を深める)	30名
	秋の火災避難訓練	センター利用者及び児童会館合同避難訓練	—
12月	年末大掃除	利用者様と館内大掃除	—
	クリスマスダンスパーティー	社交ダンス講座受講生を中心としたダンスパーティー	—
	クリスマス会	児童会館と協働行事	
1月	新春演芸発表会 (舞踊等の部)	日頃の練習成果発表の場 児童会館と協働	—
2月	交通安全教室	交通安全講話	—

	令和5年度定員制教養講座募集		—
3月	令和5年度定員制教養講座受講生決定	抽選会	—
	令和4年度定員制教養講座修了作品展	1年間の成果発表	—
	かけ講座修了コンサート	1年間の成果発表	—
	大正琴講座修了コンサート	1年間の成果発表	—

(3) 目標数値

- ・ 申込率 定員に対して70%以上（定員があるものに限る）
- ・ 満足度 80%以上

6 高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務

(1) 目的・ねらい

「施設開放取扱要領」に基づき、センターの空き室を「高齢者の活動支援」を目的に、老人クラブや講座修了の受講生、町内会等が主催する「ふれあい・いきいきサロン」等に積極的に開放し、健康づくり活動や趣味のサークル活動、地域活動等を支援する。

(2) 実施内容

空き室の有効利用として、連合町内会、単位町内会等の地域団体への開放を積極的に行い、各団体による地域の福祉活動、住民活動の促進を支援する。

7 その他施設の設置目的を達成するために必要な業務

(1) ボランティアの育成及び活動支援

ア 目的・ねらい

豊平区社会福祉協議会との連携により、引き続き、ボランティア養成講座を実施し、地区のニーズに合った人材を発掘・育成し、ボランティア活動の振興・普及を支援する。

イ 実施内容

名 称	内 容	実施時期 (予 定)
ボランティア養成講座の開催	老人福祉センター利用者にボランティアに興味を持ってもらえる講座を開催する	11月

(2) 実習生の受入れ

ア 目的・ねらい

福祉系学生や看護学生等の実習を積極的に受入れ、福祉人材の育成に

寄与する。

イ 実施内容

	内 容	受入時期
札幌市立大学	老年看護学臨地実習	6月
北海道大学	老年看護学臨地実習	11月

(3) 福祉職場体験活動の推進

ア 目的・ねらい

福祉・介護の仕事に関心を有する学生に対して、働く意義や責任感を実感し、思いやりや社会に貢献する心を育ててもらうため、センターにおいて、福祉の職場を通しての社会体験や就業体験の機会を提供する。

イ 実施内容（予定）

	内 容	受入時期
中の島中学校	中の島中学校福祉現場体験	10月

(4) 地域との連携

ア 目的・ねらい

地域協働の行事を開催し、地域に根ざしかつ開かれたセンターづくりを推進する。

イ 実施内容

項 目	内 容	実施時期
なかのしまオ-外Fiesta	中の島連合町内会と協働で実施	9月
中の島文化祭	「中の島魅力ある地域のづくりの会」と協働で実施	11月
アイスクャンドル大作戦	「中の島魅力ある地域のづくりの会」と協働で実施	1月

ウ 目標数値

地域との連携行事を年1回以上開催

(5) 一人暮らしの高齢者等の見守り活動の推進

ア 目的・ねらい

福祉のまち推進センターとの連携を強化し、一人暮らし高齢者の引きこもり防止や、生きがい支援に向けて、センターの教養講座やサークル活動、レクリエーション等各種行事への参加・利用を呼びかけ、他の利

用者との交流や趣味活動の機会を持つことで、地域との関わりを保ちながら暮らしていけるよう支援する。

イ 実施内容

名 称	内 容	実施時期 (予 定)
地域見守りサポーター養成講座の開催	高齢者世帯の孤立死等を防止することを目的に、日常生活の中で「なにげなく気にかける」程度の見守りを行う「地域見守りサポーター」を養成する。	2月
福祉のまち推進センターとの連携	一人暮らし高齢者へのセンター利用の呼びかけ依頼	通年実施

(6) 障がい者関係団体との連携強化

ア 目的・ねらい

障がい者の生活課題を啓発し、理解・支援を広めることにより、高齢者と障がい者が、相互に支え合えるよう取組む。

イ 実施内容

- ① 当センター利用者様の利便性を高めることも目的として、障がい者団体によるパン等の販売を引続き実施する。
- ② センターで開催される講座や教室等に、当会が取り組んでいる「障がい者講師等の派遣」を活用する。

(7) 文集等の発行

ア 目的・ねらい

老人福祉センター利用者等による文芸創作活動の発表と、文芸を通しての交流の場として、市内10館の各老人福祉センターをはじめ、札幌市長生園及び札幌市保養センター駒岡の施設合同による文集「輝き」を発行する。

イ 実施内容

随筆、詩、俳句、短歌、川柳、その他文芸作品（思い出の写真、短編小説、コント等）を利用者から投稿していただく。（年1回の実施）

ウ 目標数値

年1回の発行

8 介護保険法の通所介護等にかかるサービスの提供等に関する業務

(1) 目的・ねらい

要介護状態及び要支援状態にある高齢者においては、それぞれの生活習慣、家庭環境、身体状況等により、一人ひとりの様々なニーズがあることから、そのニーズに対応したサービスを提供することによって、利用

者の心身機能の維持・向上を図り、地域での自立した日常生活を送ることができるようサービスを提供する。

(2) 実施内容

- ア 送迎サービスの実施
- イ 健康チェックの実施
- ウ 入浴介助サービスの実施
- エ 排泄動作介助・支援の実施
- オ 食事介助の実施
- カ 心身機能の回復・維持の実施
- キ 口腔機能向上の実施
- ク 運動機能向上の実施
- ケ 相談・援助の実施
- コ 家族介護者教室の実施

(3) その他施設の設置目的を達成するために必要な業務

- ア アクティビティサービス（外出行事、個別レクなど）の実施
- イ 地域との連携（地域協働行事、世代間交流など）の実施
- ウ 社会貢献（看護や福祉の実習生の受入れ、ボランティア活動支援、小中学生等の就労体験など）の実施

(4) 利用目標人員

1日当たりの平均利用人員 17.0人（前年度目標値：17.5人）

IV 広報活動

当該業務については、札幌市と連携しながら、リーフレット、情報誌の作成・配布、ホームページの開設・更新、その他の必要な施設のPRや情報提供を行います。

1 センターだより、リーフレット（老人福祉センターごあんない、さっぽろの社協）等による周知

2 ホームページによる周知

- ・老人福祉センターの利用案内、施設紹介
- ・各種行事、イベントの案内
- ・センターだよりやお知らせの掲載（適宜更新）

V 重点事業の実実施計画

平成30年度～令和4年度の運営にあたり、「社会参加の促進」「生きがいづくりの推進」「世代間協調への理解」を最重点テーマに、以下の項目を新たに取組みます。

1 高齢者の活躍の場の提供

(1) 目的・ねらい

施設内での様々なお手伝いを行うためのボランティア団体（仮称）「お

願いし隊」を設立する等、健康増進、生きがい支援を目的とした取組みを実施する。

(2) 実施内容

実施項目	内 容	実施時期
フラワーボランティア	センター正面玄関前の花壇の手入れ等	5月～10月 (適宜)

2 地域介護教室

(1) 目的・ねらい

専門職員の指導により介護の基本を学び、家庭内で『お世話が出来る』ことを目的とした「地域介護教室」を試行的に実施する。

(2) 実施内容

実施項目	内 容	実施時期
中の島地域介護教室	介護保険、介護サービスや介護の基本を学ぶ	1 2月

3 喫茶コーナー活用事業

(1) 事業目的

老人福祉センター利用者の交流を促進し、仲間づくりの機会を提供するとともに、高齢者の社会参加促進の事業を実施することを目的とする。

(2) 実施内容及び実施手法

ア 喫茶コーナーボランティアによる入浴券の取扱

標記ボランティアによる、当センター入浴利用者の入浴券の受取業務等に引続き携わっていただき、社会参加促進を図る。

イ 地域協働行事での活用

当センターの隣にある「かわら公園」で実施される、「なかのしまオートムフェスタ」開催時に喫茶コーナーを活用して、利用者様の交流促進を図る。

ウ 引きこもり解消

地域でセンターを承知していない高齢者やひきこもりの高齢者などが喫茶コーナー利用を一つのきっかけとして、老人福祉センターを利用いただけるよう福祉のまち推進センターとの連携により一人暮らし高齢者への声掛けを行う。

4 利用増に向けた事業等について

必要な感染対策を図り、利用者が安心して参加できる事業の実施を検討または実施する。

令和4年度札幌市豊平老人福祉センター自主事業計画書

札幌市豊平老人福祉センターの管理運営を実施するほか、利用者への利便の提供、利用者の社会参加を図ることを目的として、次の事業を行う。

1 自動販売機による販売

(1) 目的

老人福祉センター利用者へ利便性を提供することを目的とする。

(2) 事業内容

札幌市豊平老人福祉センター内に自動販売機1台を設置し、各種飲料を販売する。

(3) 販売品目

缶ジュース、缶コーヒーなどのソフトドリンク。

2 喫茶コーナーによるコーヒー販売

(1) 目的

老人福祉センター利用者の交流を促進し、仲間づくりの機会を提供するとともに、高齢者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

(2) 事業内容

ア 高齢者のボランティアによりコーヒーの販売を行う。

イ 平日の午前10時から午後3時以内とする。ただし、行事等を開催する場合は平日に限らず実施し、時間を延長する場合もある。

ウ コーヒー一杯の販売価格は100円(消費税込)とする。なお、原材料等の変動により変更する場合がある。

様式1 令和4年度札幌市豊平老人福祉センター収支計画書(総括表)

単位:千円

1 収入

項目	予算額	摘要
指定管理費	38,809	
利用料金収入	36,670	
その他の収入(指定管理業務)	397	
その他の収入(自主事業)	612	
収入計(A)	76,488	

2 支出

大項目	中項目	小項目	予算額	摘要
指定管理業務	管理費	人件費	1,850	
		物件費	3,858	
		小計	5,708	
	事業費	人件費	45,159	
		物件費	24,123	
		小計	69,282	
指定管理業務計		74,990		
自主事業	管理費	人件費		
		物件費		
		小計	0	
	事業費	人件費		
		物件費	568	
		小計	568	
自主事業計		568		
受託事業	管理費	人件費		
		物件費		
		小計	0	
	事業費	人件費		
		物件費		
		小計	0	
受託事業計		0		
支出計(B)			75,558	

3 収支

項目	金額	摘要
当期利益(A-B)	930	
自主事業による利益還元(C)	0	
法人税等(法人税、住民税及び事業税)(D)	930	
当期純利益(A-B-C-D)	0	

注)

- 1 施設において自主事業として実施した、札幌市その他の機関や団体からの受託事業がある場合には、当該受託事業をその他の自主事業と区分して記載してください。(様式2以下についても同様です。)
- 2 収入の表は、様式2に基づき作成してください。なお、行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 3 支出の表は、様式3に基づき作成してください。
- 4 収支の表の法人税等欄については、予想される税金の額を記載してください。

様式2 令和4年度札幌市豊平老人福祉センター収支計画書(総括表)

1.利用料金収入

単位:千円

区分	単位	利用料金 (単価:円)	利用回数	予算額	備考
浴室	回	200	2,400	480	
介護保険 収入	回	8,073	2,976	24,024	デイサービス分
総合事業 利用料収 入	回			9,341	デイサービス分 (月平均利用見込人数×月額単価から 予算額を算出)
利用料収 入(食事 代)	回	540	5,231	2,825	デイサービス分
総計				36,670	

- 注) 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
2 税込で記載してください。

2.指定管理業務の事業収入、自主事業収入、受託事業収入

豊平

単位:千円

項目	事業名(科目)	予算額	摘要
指定管理 業務	その他の収入(老福)	35	コピー料収入他
	その他の収入(デイ)	362	実習謝礼等
		指定管理業務事業収入計	397
自主事業	手数料収入	84	自販機手数料
	喫茶事業収入(老福)	528	喫茶収入
	自主事業収入計	612	
受託事業			
	受託事業収入計	0	
事業収入計		1,009	

- 注) 1 項目毎に、事業単位で記載してください。
 2 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 3 税込で記載してください。
 4 自主事業において札幌市その他の機関や団体からの補助金の交付を受ける予定がある場合には、摘要欄に補助金の交付元名、補助事業名、補助率等を簡潔に記載してください。
 5 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載し、摘要欄には委託元名を記載してください。

様式3 令和4年度札幌市豊平老人福祉センター収支計画書(総括表)

単位:千円

項目	科目	指定管理業務		自主事業		受託事業	
		管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費
人件費	給料手当	1,850	24,361				
	臨時雇賃金		14,610				
	福利厚生費		201				
	法定福利費		5,987				
	人件費計	1,850	45,159	0	0	0	0
物件費	旅費・交通費		25				
	研修費		30				
	消耗品・備品費		247		26		
	印刷製本費		112				
	光熱水費		4,704				
	燃料費		3,778				
	修繕費		400				
	通信運搬費		390				
	広告宣伝費		0				
	委託費		5,712				
	支払手数料		3				
	保険料		428				
	賃借料・使用料		2,059				
	租税公課		141				
	諸謝金		1,986		264		
	給食費		300				
	保健衛生費		563				
	被服費		82				
	教養娯楽費		204				
	器具什器費		455		53		
	教育指導費		100				
	車両費		1,135				
	雑費		1,269		185		
本部経費	3,858	0		0			
行政財産の目的 外使用料		0		40			
物件費計	3,858	24,123	0	568	0	0	
支出計	5,708	69,282	0	568	0	0	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 管理費、事業費を区分する際の考え方は次のとおりとします。
 - ・管理費:施設における事業を管理するために経常的に要する費用。管理部門の費用など。
 - ・事業費:施設における事業の目的のために直接要する費用で管理費以外のもの。
- 4 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載してください。
- 5 自主事業、受託事業において事業数が複数の場合、各事業の合計額を記載してください。

様式4 令和4年度札幌市豊平老人福祉センター収支計画書(総括表)

豊平

単位:千円

1 指定管理業務

配置部署	職種	雇用形態	配置人数	給料手当		臨時雇賃金		福利厚生費		法定福利費		備考	
				管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費		
老人福祉センター	館長	正職員	1										
〃	副館長	〃	1										
〃	4種嘱託	嘱託職員	1										
〃	5種嘱託	〃	2										
デイサービスセンター	事務職員	正職員	1										
〃	4種専門	〃	2										
〃	4種嘱託	嘱託職員	6										
〃	5種嘱託	〃	1										
計			15										1,850

- 注)
- 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 - 職種欄には、館長、部長、課長等の役職名を記入してください。
 - 雇用形態には、パート、アルバイト等により記入してください。
 - ・正規職員:当該団体が雇用している労働者で雇用期間の定めのない者のうち、パートタイム労働者などを除いた、いわゆる正社(職)員
 - ・パート、アルバイト:正社員より1日の所定労働時間が短いか、1週の所定労働日数が少ない労働者で、雇用期間が1か月を超えるか、又は定めがない職員
 - ・契約職員:特定職種に従事し、雇用期間を定めて契約する職員(「パート、アルバイト」に属する職員を除く)
 - ・嘱託職員:団体の定年退職者等を一定期間再雇用する目的で契約し、雇用する職員
 - ・その他:上記に属さない職員(他企業等より出向契約等に基づき出向してきている職員など)。なお、上記に属するかどうかの判断が困難な場合は、「その他」としてください。
 - 各管理費・事業費欄において両方の経費に該当する場合には、両方の欄に該当額をそれぞれ記載してください。
 - 配置部署において指定管理業務での事業を担当している場合、備考欄に当該事業名を記載してください。

様式5 令和4年度札幌市豊平老人福祉センター収支計画書(総括表)
豊平

単位:千円

1 指定管理業務

科目	予算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費		25	連絡交通費他
研修費		30	職員研修参加費
消耗品・備品費		247	事務用消耗品・備品
印刷製本費		112	諸用紙印刷
光熱水費		4,704	電気、水道料、厨房ガス料
燃料費		3,778	ガス料(暖房・入浴用)
修繕費		400	各所修繕費
通信運搬費		390	電話、郵便料
広告宣伝費		0	
委託費		5,712	各業務委託料、保守料
支払手数料		3	銀行手数料
保険料		428	施設賠償保険、車両保険等
賃借料・使用料		2,059	車両リース、輪転機賃借料他
租税公課		141	印紙等
諸謝金		1,986	講師謝礼金等
給食費		300	行事関連食物費
保健衛生費		563	衛生材料等
被服費		82	タオル等
教養娯楽費		204	新聞、行事費用等
器具什器費		455	事業用器具類等
教育指導費		100	施設サービスアップ費用等
車両費		1,135	車両燃料費、車検、定期点検、車両維持費
雑費		1,269	清掃業務費用(市への支払い)、年会費等
本部経費	3,858	0	
行政財産の目的外 使用料			
計	3,858	24,123	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

2 自主事業

科目	予算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費			
研修費			
消耗品・備品費		26	喫茶用消耗品
印刷製本費			
光熱水費			
燃料費			
修繕費			
通信運搬費			
広告宣伝費			
委託費			
支払手数料			
保険料			
賃借料・使用料			
租税公課			
諸謝金		264	喫茶ボランティア実費弁償
給食費			
保健衛生費			
被服費			
教養娯楽費			
器具什器費		53	喫茶用什器
教育指導費			
車両費			
雑費		185	喫茶用コーヒー等
拠点区分間繰入金 支出			
行政財産の目的外 使用料		40	自販機使用料・加算料
計	0	568	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。